

こうじ  
工事の  
げんば  
現場より

いま ようす  
今はこんな様子だよ。



2月3週目

たいしんほきょう ほんたい こうじ たいしんかべ せこう  
耐震補強の本体工事（耐震壁の施工など）が順調に進み、続いて耐震補強のために解体  
かしょ ふつきゅうこうじ すす  
した箇所の復旧工事が進められています。建物の表面・細部の組立が進み、建物の元の  
すがた すこ もど  
姿に少しずつ戻ってきている様子が確認できます。工事完了に向けて作業は確実に進めら  
かんせい ひろう とき ころま  
れていますので、完成披露の時を心待ちにしてください！



さいきん たたみ たたみしん はつぼう  
▲最近の畳は畳芯が発泡スチロール系素材であるのが主流で軽量化していますが、臨春閣の畳は昔ながらの藁床  
めずら しゅうら くわ かんとう いっぱんてき たたみ おお きょうまたたみ じゅうりょうきゅう そうすう なん まい  
(しかも珍しい棕櫚裏)、加えて関東で一般的な畳より大きい京間畳なので重量級。総数は何と118枚！



しょうへきがふつきゅうさぎょう やまば え えが かみ ほんし は  
障壁画復旧作業の山場、絵の描かれた紙（本紙）の張り  
こ さぎょう も おお かみ あつとう  
込み作業。これまでの1人で持てる大きさの紙より圧倒  
てき おお のりつ はけ ほじょく もち は  
的に大きいため、糊付けの刷毛にも補助具を用い、張り  
こ なお き いっぱんしょうぶ とく  
込みも4人がかり。やり直しの効かない一発勝負、特に  
きんちよう ど あ おお さぎょう  
緊張の度合いの大きな作業でした。

しょうへきが たたみ もど  
障壁画・畳が戻って  
こうじ げんば しつない けいかん  
「工事現場」から「室内」の景観へと  
さまが し あ さぎょう  
様変わり！ 仕上げの作業だから  
いっそういねい おこな  
一層丁寧に行われています。

